

県の疾病対策課発表によると、コロナ感染者は5月14日はゼロだったのですが、

5月15日は2人で海外からの帰国者。16日は5人発症ですが、感染ルートが判明している発症です。

入院も102人でひところの280人から見ると、医療機関も少し落ち着いてきたのでしょうか。軽症者、無症状者用のホテルも22人でガラガラのようです。今後さらに落ち着いて、非常事態宣言の解除が待たれます。早く学校が始まりますように。

└◆

| アベノマスクの怪が明るみに

| マスク予算が466億円！！さらに検品8億円！！

└

船橋市保健所で妊婦用マスクの検品をしていた情報をいただいたのが5月4日。毛が入っていないか、汚れがないか、目を皿のようにして検査表に書き入れていたとのことでした。

そこで市民ネットと近隣自治体議員に聞き取りをお願いしました。

判明したのは、県保健所では検品はしていないこと。

野田市のように届いていない自治体もありましたが、市町村に直接妊婦用マスクが届き、担当部署で検品作業をして、すでに問題のマスクは返品されていました。

ワースト例は、4月16日人口20万の市に720枚が届き、不良品は535枚。髪の毛やほこりの混入、汚れの付着、変色、糸のほつれなどなどひどいものだったということです。

: なぜ妊婦用マスクを自治体が検品したのか？

これは、厚労省の事務連絡で検品を指示したからです。

4月16日に厚労省へ不良品の報告があったという事務連絡を皮切りに、17日不良品は別途保管を指示し、18日には各市町村で検品を徹底するようにと、さらに指示しています。

21日には汚れたマスクを検証するため、その実物を返送するようにと事務連絡を出しています。

問題発生から2週間、忙しい現場に検品作業を押し付け、すべてが終わった5月1日に、国が検品するからすべて返品するように。しかし、検品の終わったものは配ってもよろしい、と出しています。

: 妊婦用マスクの1割が不良品

宮川伸さん（衆議院議員）が5月11日厚労委員会でこのアベノマスク問題を取り上げました。

始めの答弁では、現場に検品を指示したことはおくびにも出さず、返品を指示したことのみ。宮川さんの追及で、妊婦用に47万枚を送付して、不良品は約47000枚、検品をすべて市町村でやらせたと副大臣が認めました。

思った通り、5月1日の事務連絡は、自治体に検品を指示したことを隠すための厚労省のアリバイ作りだったのです。

ちなみに、妊婦用マスクの郵送費は半額自治体もちです。

◎宮川伸さん経済産業委員会質疑録画

[http://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php?ex=VL&deli_id=50156&media_ty
pe=](http://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php?ex=VL&deli_id=50156&media_type=)

: 検品費用に8億円？800万円？

14日の福島瑞穂さん（社民党）の質問に「返品されたマスクの検品に550人投入して、8億円かかる」と答弁。

しかし、16日、妊婦分は800万円。自宅用、介護施設用を入れたすべての検品の契約額が8億円と訂正。本来なら納入業者が検品をしたうえで納入すべきものです。アベノマスクなら不良品が1割も占める納品を許し、検品も購入者側（国）がすることになるのでしょうか。

納税者への裏切り行為です。

巷では店頭に戻ってきつつあります。

特に玉城デニー沖縄県知事のステキなかりゆしマスクに、手作りマスクのおしゃれ度が再認識されています。

アベノマスクは果たして、必要なのでしょうか。

マスク代466億円の説明責任もうやむやのまま。

無責任な税金の使い方に異議あり！！です。

国民の生活に直結する、有効な使い方にかじを切るべきです。



| 第2回コロナ生活困難緊急相談会を開催（5月30日）

「反貧困ささえあい千葉」

日時：5月30日（土）13時～17時

会場：市民ネットワーク・ふなばし事務所（東船橋駅南口1分 地図参照）

電話 047-426-8321

主催：反貧困ささえあい千葉

◎第1回相談会（5月3日～6日）の報告は、「ブログ 伊藤とし子のひとりごと」https://blog.goo.ne.jp/lynmiu_2011をお読みください。

